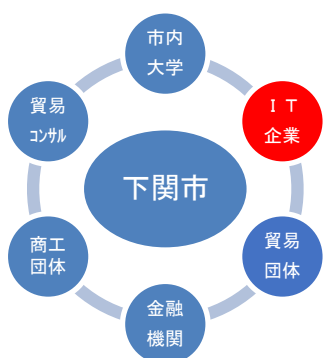


# 下関地域商社の横顔

市大生が潜入!?

## Vol. 2 GMO クラウド(株)



下関地域商社は、市内企業の海外展開をサポートするために、市内の「産・官・学・金」が共有してノウハウを持ち寄り、「正しい海外展開への道」をクライアントである市内企業様とゴールまで一緒に歩いていくプロジェクトを総称したものです。ゴールまで一緒に歩いていくメンバーって、どのような役割を持つ人たちなのだろう？地域商社メンバーであり、今回の Food Japan2017 出展支援プロジェクトに参加する下関市立大学学生がシリーズで明らかにします。第2回目は GMO クラウド株式会社です。

### 下関に支社を持つ大手 IT グループ

最初の流れは 1999 年にここ下関でレンタルサーバーの事業を立ち上げたのが前身です。スタート時は 4 名でした。その後、現在の GMO インターネットグループと合流し、組織として完全にひとつになったのが 2007 年です。東京に本社を持ち、大阪と下関に支社を置く現在の形態が出来上がりました。事業内容はドメイン取得やレンタルサーバー、ホームページの立ち上げ、ウェブ決済、セキュリティ部分の管理など、インターネットの中のハード部分の構築を行っているのが特徴です。我々 GMO クラウドは、国内外 102 ある GMO インターネットグループのうち、上場している 9 社のひとつです。

——— 下関ではどんなお仕事をされているのですか？



学生に説明を行う企業担当者

弊社は、作る、売る、守るというサイクルで、各セクションが機能していますがここ下関では、「守る」に特化した事業所です。電話対応の声が聞こえていると思いますが、コールセンターがメイン業務となります。オペレーターが 24 時間張り付きで対応しています。お客さまの技術的なお問い合わせにも対応するため、エンジニアも置いています。

——— 時には苦情の声もありますよね。大変ですね

逆に一番お客さんに近い、笑顔を感じられるポジションにすることができ、やりがいを感じています。

——— 地域との関わりについてはいかがですか

地域密着を掲げていますので、下関のイベントにも多く参加します。身近なところでは、関門海峡花火大会や下関花いっぱい計画、下関海響マラソンにも参加しますよ！地域貢献という意味では、下関地域商社への参画もそのひとつといえるかもしれませんね。

## 地域商社 IT 部門担当として地域商社ホームページを開設

——— 地域商社の一員としての役割は

各機関にはそれぞれの役割があります。海外展開支援を担うジェトロさんや、物流のグローロロジスティクスさん、掘り起しを担う西中国信用金庫さん、下関市立大の学生さんは学術機関としての役割やインターン的な意味合いも含まれていると思います。弊社はやはり IT 部門ですね。下関地域商社のホームページ（当サイト）をまず 2017 年 3 月に開設しました。会員向けサービスとして、将来的には越境 EC や市場リサーチなども手掛けたいですね。まだどこまでやれるかわかりませんが、インターネットは無限の可能性を秘めているので、市と連携しながら可能性にチャレンジしていきたいですね。



企業担当者の話を熱心に聴く学生

——— 現在はこのホームページでどんなサービスが受けられますか

GMO インターネットグループには、WEB 上で翻訳サービスを行っている部門があります。貿易を始めようとする企業さん、特に中小企業の皆さんにおいては、語学に明るい人材の確保は難しいと思います。そこにニーズを感じ、会員さん向けに翻訳サービスを行っています。最近では自動的に翻訳される機能もネット上でありますが、貿易の世界では専門性の高い語句が多いので、誤って訳せば重大な損失にも繋がります。そうしたことから我々のグループでは、専門のスタッフが付いて翻訳し、しかもスピーディーにというところを目指してやっています。

ところでおふたりはネットショッピングをしますか？

学生 A 利用したことはありますが、セキュリティ面で怖さがあるのであまり使いません。

学生 B 私は便利なので結構利用しています。



GMOクラウド下関支社 本廣取締役付

情報漏えいが怖くて使っていないという声はよく聞きます。クレジットカードで決済という部分ですよ。弊社が行っているのはまさにその部分です。セキュリティ機能の高い、ウェブ上で決済できるようなシステムを構築し、多くの人々が気軽に安心して使えるインターネットをこれからも提供します。

学生のおふたりの Food Japan 参加の志望動機は？

学生A この活動でしか体験できないことがあると思います、志望しました。雑貨に興味があるので、将来は雑貨のバイヤーになりたいと思っています。私は海外も初めてですし、役に立てるかどうか分からないが頑張ってみようと思いチャレンジしました。

学生B 私はこうしたプロジェクトに関してなかなか積極的になれませんでした、自分を変えたいと思って応募しました。言葉が分からず戦力にならないかもしれませんが、できるやり方で精一杯コミュニケーションを図りたい。またこのプロジェクトを通じて先輩社会人の方々とも関わりが持てたらいいなと思っています。

## 就職するということ

——— 私たちは3年生でこれから就職活動を行います。御社で働く方々の志望動機などにも触れてみたいと思います。



都市部から下関で就職した森本さん

そうですね。私はやはりインターネットが好きで、IT関連への就職をなんとなく考えていたところ、大学時代の先輩が下関でそうした仕事についていまして…それがこの会社でした。グループとしての規模が大きく、いろんなことがやれそうな感じがしました。実際に下関に行って訪問して、良かったので、いわばIターンのような形で就職しました。学生の皆さんには今回の経験をぜひ就職活動や就職後に活かしてもらいたいと思います。

——— 本日は貴重なお時間を頂きありがとうございました。ここで学んだことを今回のプロジェクトそして今後活かしていきたいと思います。

※本事業は、下関市立大学と下関市による下関地域商社協定と、PBL（Project Based Learning—共同自主研究）の採択により実現しています。

※GMOクラウド社 社員に付記されている役職は、取材を行った2017年9月13日当時のものです。

[編集者 下関地域商社（下関市産業振興課）森本 渉]